２０２２年　尾張陸上競技選手権大会　大会参加における遵守事項

　尾張陸上競技協会

本教室は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、（公財）日本陸上競技連盟「陸上競技活動開催のガイダンス」に従い実施する。通常の練習会とは運営方法が異なるため、遵守事項をよく確認すること。また、運営方法についても、競技会とは異なるため注意すること。遵守されない場合、今後の練習会開催に影響が出ることもあり得るので、各団体で選手・保護者等関係者に周知すること。

１　感染防止のための全般的な注意事項

①教室１週間前から体調チェックを行い、競技場入場時に検温して入場する。

　　　※以下の項目に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

　　　　・体調がよくない（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

　　　　・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

　　　　・過去１４日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

　　　※提出する前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身でも保管すること。

　　②運動中以外はマスクを着用し、手洗い・洗顔を徹底する。

　　③３密（密閉・密集・密接）回避行動を心掛ける。

　　④ウォーミングアップは個別に行うことがのぞましい。

　　⑤競技終了後および競技用具使用後は手洗い・洗顔・手指の消毒をする。

　　⑥更衣室の滞在は短時間にする。

　　⑦ゴミは各自で必ず持ち帰る。

　　⑧フィールド競技の滑り止め（炭酸マグネシウム）はできるだけ各自で持参する。

　　⑨競技者同士の会話は極力避け、招集中・移動中・待機中はマスクを着用する。

　　⑩参加者は練習時間に合わせて来場し、自分の練習が終わったら速やかに帰宅する（競技場滞在時間をできるだけ短くする）。

　　⑪各団体は芝生スタンドを控え室として使用し、密を避ける工夫をする。

　　⑫教室主催者は教室に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

２　競技場への入場について

（１）参加者

　・入場口は競技場**南東の通用口１か所のみ**とする。

　・競技場内への入場可能時間は、午前午後の受付時間からとする。時間前の入場は原則認めないため、受付の時間に合わせて来場する。

・入場の際は、非接触体温計での検温を受ける。当日の体温が３７．５℃以上の場合は競技場内に入場できない。ただし、平素の体温も考慮する。

・再入場する場合は、再度検温を受けてから入場する。

３　団体受付・個人受付について

　・本教室は、南東の通用口から競技場入場時に受付を行う。

　・受付時に、教室参加料を支払う。（団体も参加生徒を集約してまとめて支払うこと）

・団体で参加する際は、「チーム控え場所位置図」に自チームの控え場所の位置が分かるように〇印をつけて提出する。

４　各団体控え場所について

　・各団体の控え場所は、芝生スタンドのみ使用可とする。競技場メインスタンドおよび芝生スタンド以外のスペースは使用禁止とする。また、競技場外の場所（いちい信金スポーツセンター敷地内の木陰など）についても使用禁止とする。

　・控え場所ではマスクを着用し、密が避けられるように各団体で配慮する。

５　練習中および練習終了後について

（１）トラック競技

　・手洗いを実施してから集合する。

　・密を避け、常に周囲との距離を保つ。

　・練習中以外はマスクを着用する。

　・練習後は、手洗いを実施する。

　・練習終了後は速やかに荷物をまとめ、手洗いのうえ退場し、そのまま帰宅する。

（２）フィールド競技

　・手洗いを実施してから集合する。

　・待機場所では密を避け、常に周囲との距離を保つ。

　・参加者同士の会話は極力避け、待機中はマスクを着用する。

　・投てき競技で使用する滑り止め（炭酸マグネシウム）は各自で持参する。

　・練習終了後は、手洗いを実施する。

　・練習終了後は速やかに荷物をまとめ、手洗いのうえ退場し、そのまま帰宅する。

６　その他

　・競技場入場後のトイレは、スタンド下トイレのみ使用可とする。

　・発熱者が発生したときは、迎えが来るまで競技者控室にて待機させる。

　・指導員は、控え場所としてメインスタンドを使用する。

　・ゴミは各自で持ち帰り、処分する。

　・厚生労働省が提供する、新型コロナウイルス接触確認アプリ（ＣＯＣＯＡ）の使用を推奨する（ただし、通信端末は競技エリアに持ち込むことはできない）。

　・その他、指導員の指示があった場合はその指示に従う。